

MCI高齢者早期発見のための運転 リスク評価手法の開発



小玉 鮎人

Ayuto Kodama

助教 博士（保健学）

医学系研究科 保健学専攻 作業療法学講座

研究キーワード

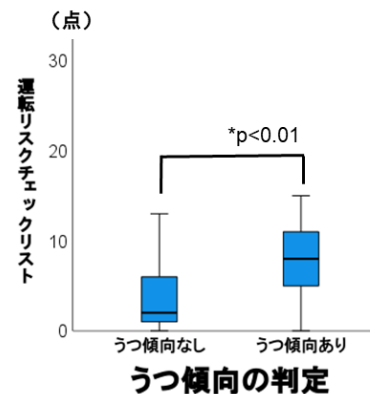
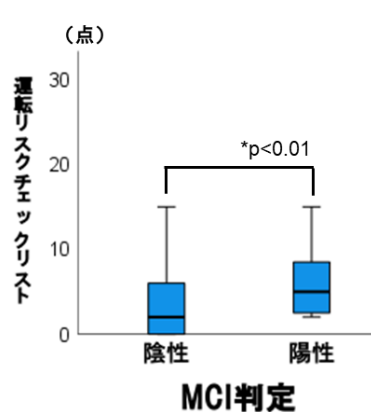
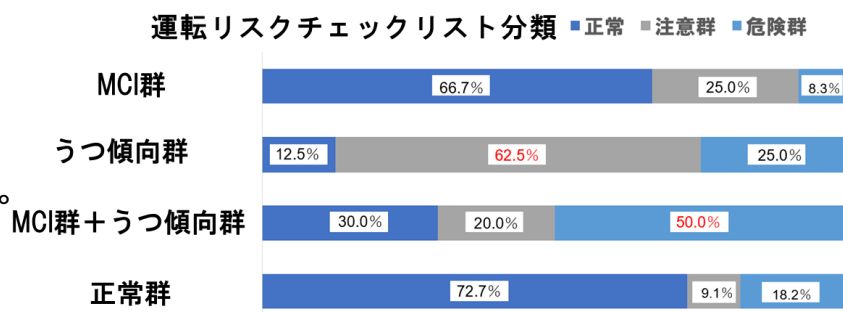
認知症、軽度認知機能障害(Mild Cognitive Impairment; MCI)、フレイル、高齢期うつ、高齢者ドライバー

研究概要

高齢者の自動車運転事故は深刻な社会問題となっています。特に高齢者は身体機能の低下や認知機能の低下により、**瞬発力、判断能力、視空間認知能力などに影響し、交通事故の原因になると考えられています。**

これまで秋田県内65歳以上の高齢者のうち**1500例以上の身体機能や認知機能に関するデータ**収集してきました。

本研究では、自動車運転時に起こりうる状態をまとめたチェックリストを作成し、高齢者による自動車運転の危険度判定を行うとともに、**軽度認知機能障害（Mild Cognitive Impairment; MCI）や認知症の早期発見となるスクリーニングテストを開発**することを目指しています。



予想される応用例

日常的に自動車運転をしている高齢者に対するアンケート調査により、認知症または認知症予備軍の早期発見をすることができる。

産業界へのアピールポイント

認知症やフレイル予防の観点から高齢者の運転寿命延伸に向けたアドバイスや介入を、地方自治体と連携しながら取り組んでいます。